

4 自分のこと

< 自己への評価 >

問8 あなた自身のことについてお聞きます。

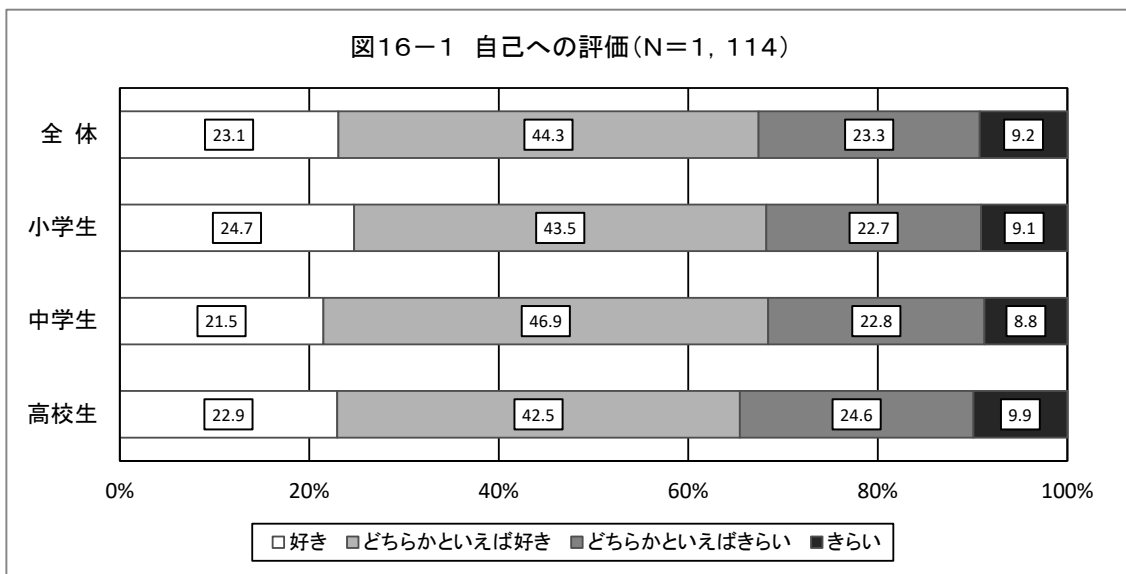
問8(1) あなたは自分のことが好きですか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自分のことが好きかどうか尋ねたところ、「どちらかといえば好き」が44.3%で最も高い。「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は、67.4%となっている。

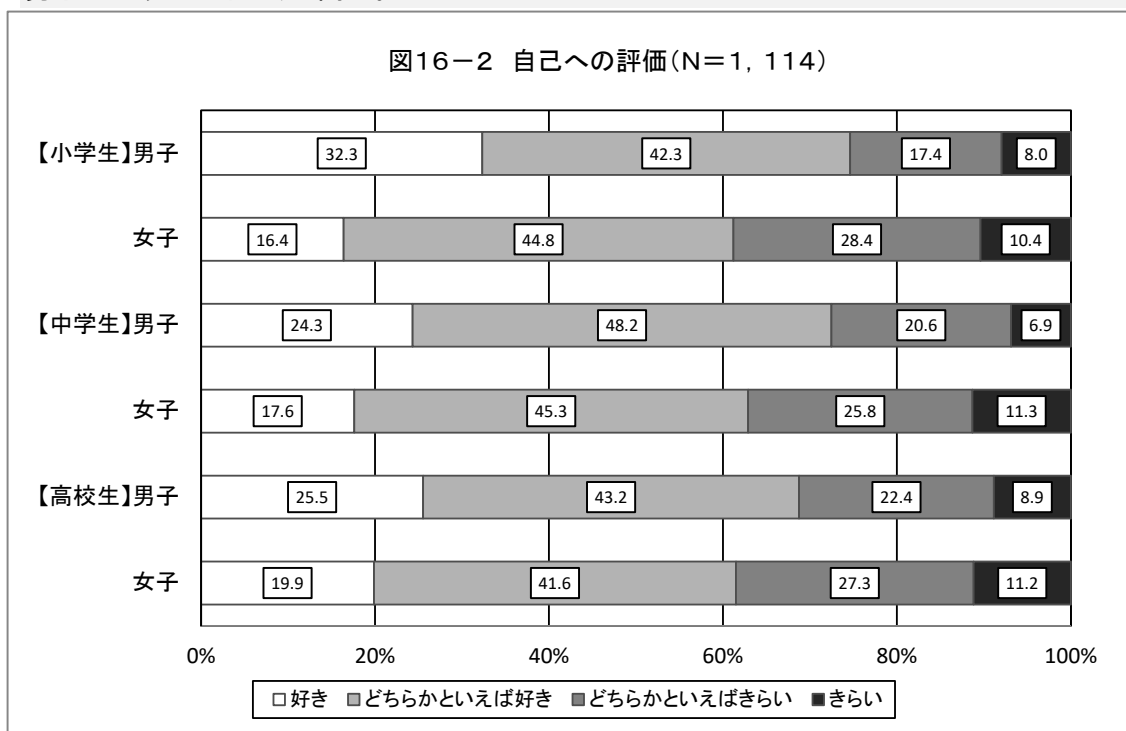
【学校種別集計結果】

『好き』は、中学生が68.4%で最も高く、以下、小学生(68.2%)、高校生(65.4%)となっている。



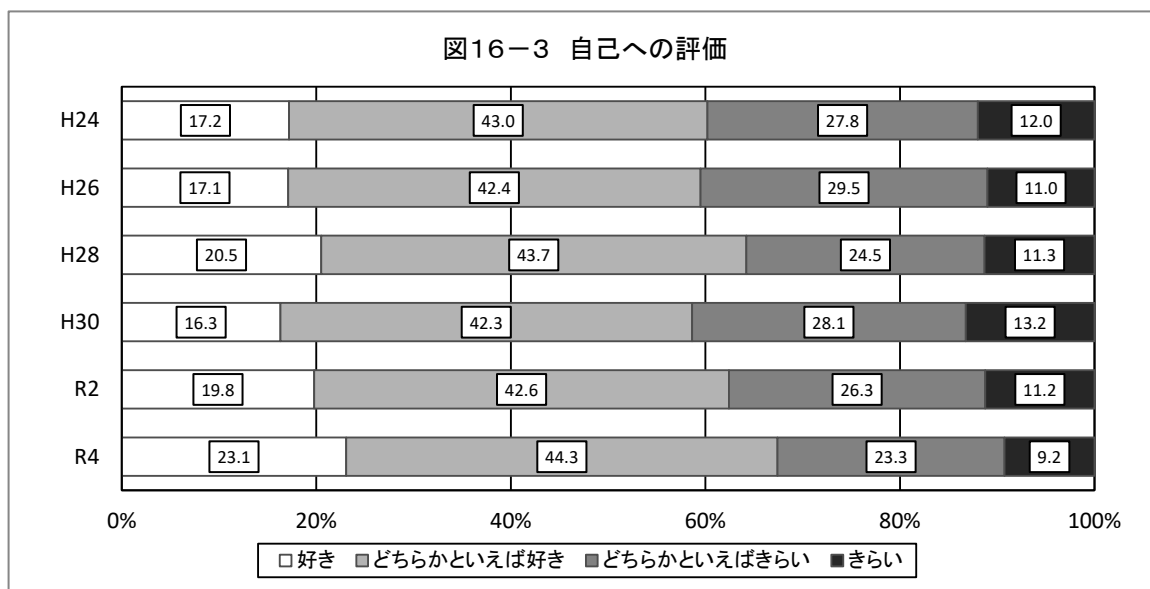
【属性別集計結果】

『好き』は、小学生男子が74.6%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、男子のほうが女子よりも高い。



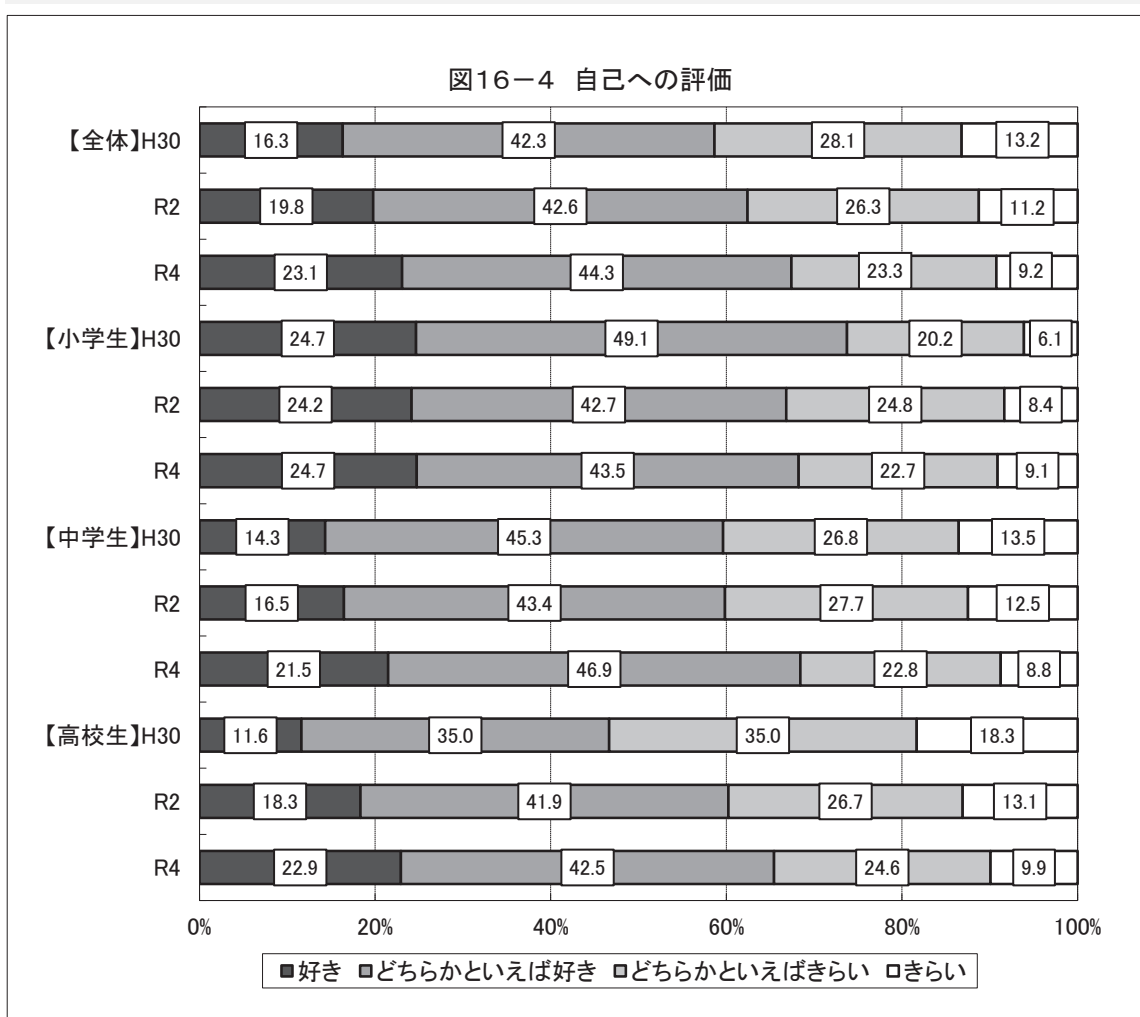
【経年変化】

『好き』は、平成24年度以降、60%前後で推移しているが、令和4年度は、令和2年度から5ポイント増加して67.4%となっている。



【学校種別経年変化】

『好き』は、全体では増加傾向だが、小学生は減少傾向、中学生と高校生は増加傾向にある。
一方、「きらい」は、全体では減少しているが、小学生が増加傾向、中学生と高校生が減少傾向にある。



< きまりやルールへの評価 >

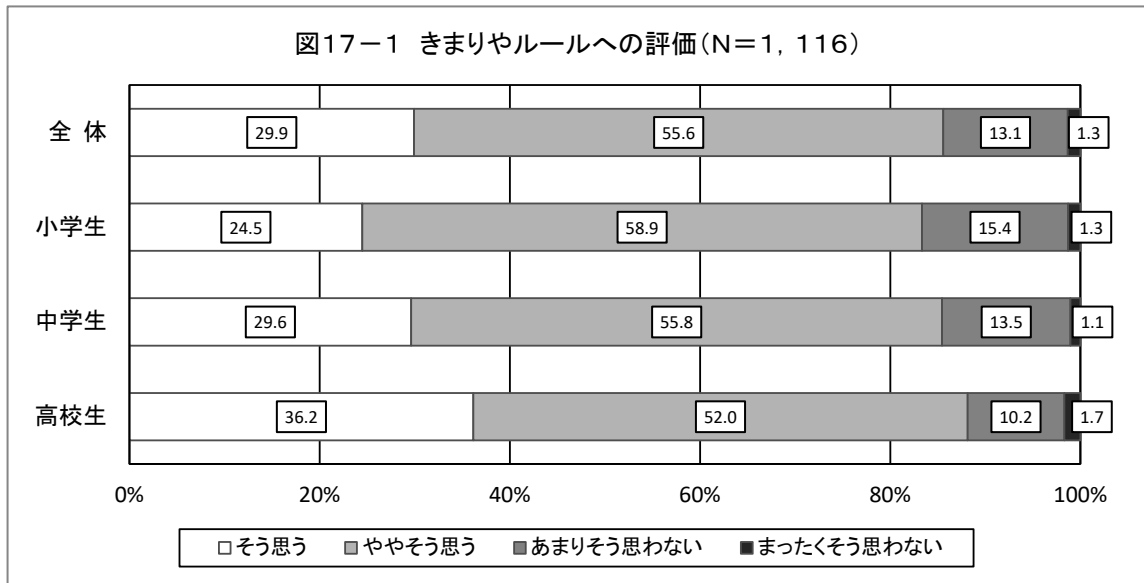
問8(2) あなたは、きまりやルールをきちんと守るほうですか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

きまりやルールをきちんと守るほうかどうかを尋ねたところ、「ややそう思う」が55.6%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、85.5%となっている。

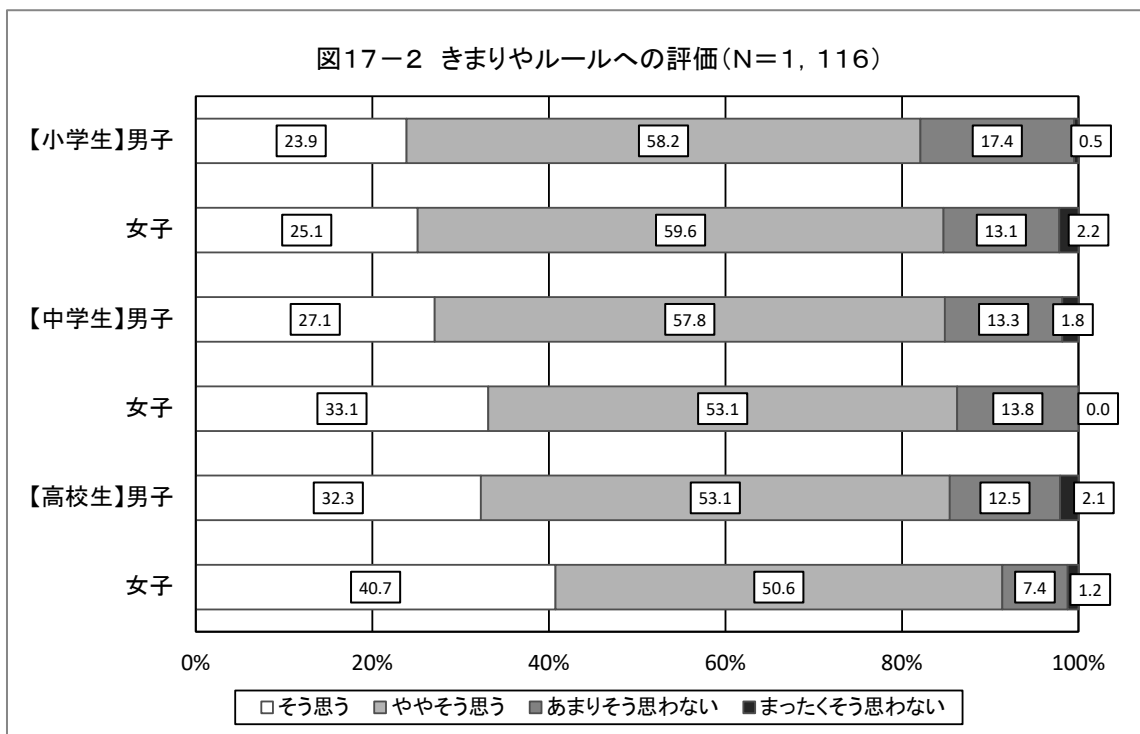
【学校種別集計結果】

『そう思う』は、高校生が88.2%で最も高く、以下、中学生(85.4%)、小学生(83.4%)となっている。



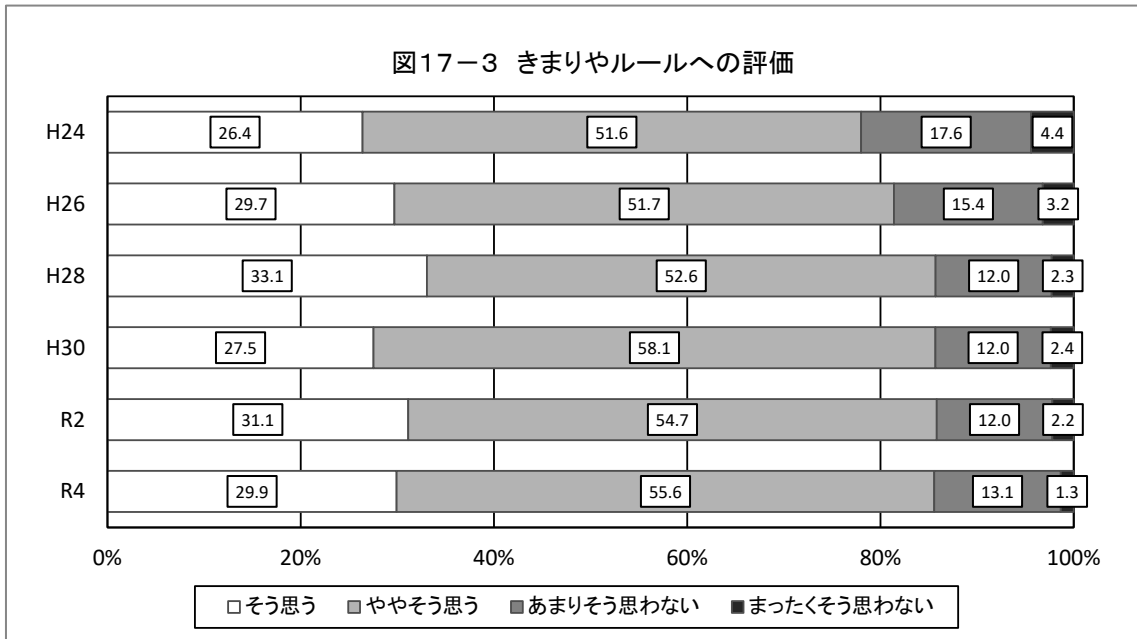
【属性別集計結果】

『そう思う』は、高校生女子が91.3%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生いずれも女子のほうが男子よりもポイントが高い。



【経年変化】

『そう思う』は、平成28年度からほぼ横ばいとなっている。



< 自然への感動 >

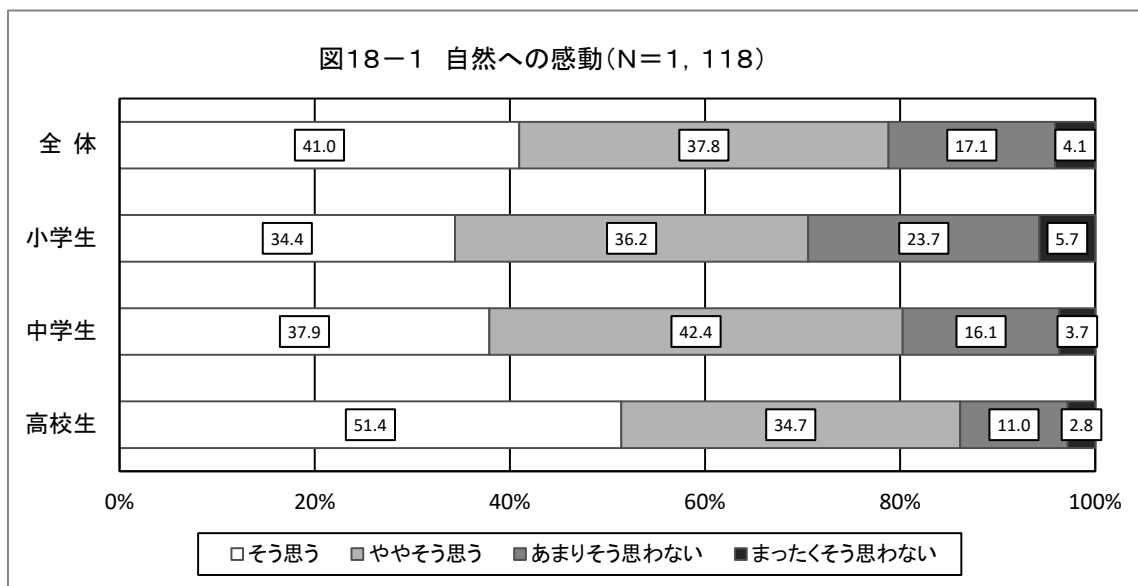
問8(3) あなたは、自然の素晴らしさにふれると感動するほうですか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自然の素晴らしさにふれると感動するかどうかを尋ねたところ、「そう思う」が41.0%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、78.8%となっている。

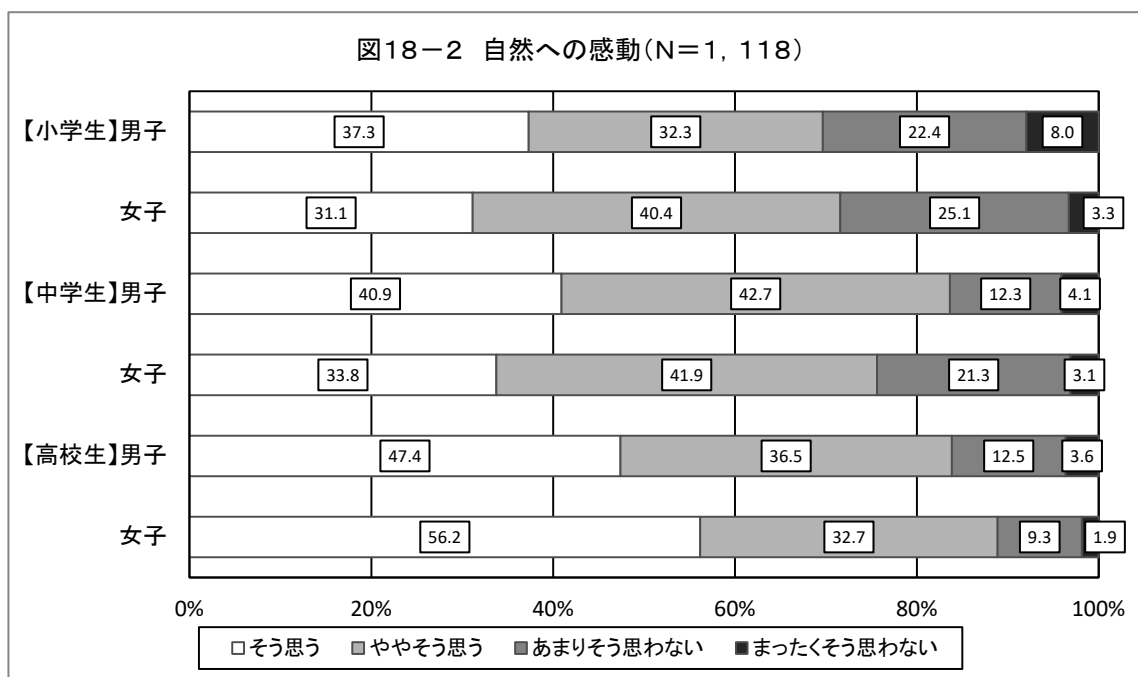
【学校種別集計結果】

『そう思う』は、高校生が86.1%で最も高く、以下、中学生(80.3%)、小学生(70.6%)となっている。



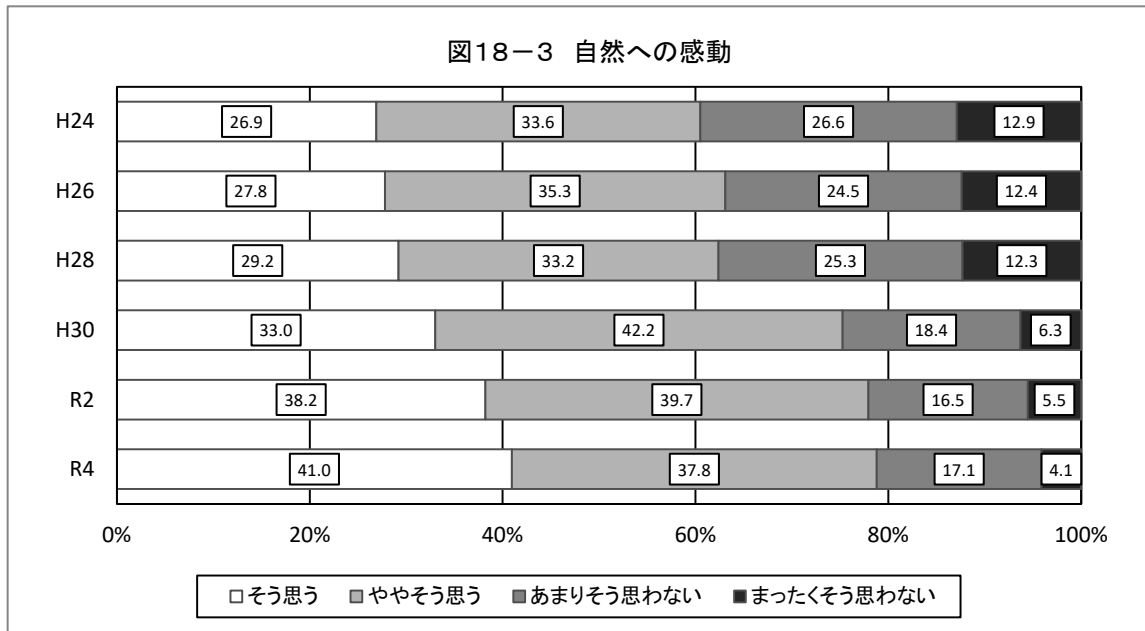
【属性別集計結果】

『そう思う』は、高校生女子が88.9%で最も高い。また、小学生及び高校生は、女子のほうが男子よりも高く、中学生は、男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

『そう思う』は、増加傾向にあり、特に「そう思う」は増加している。



< 芸術への感動 >

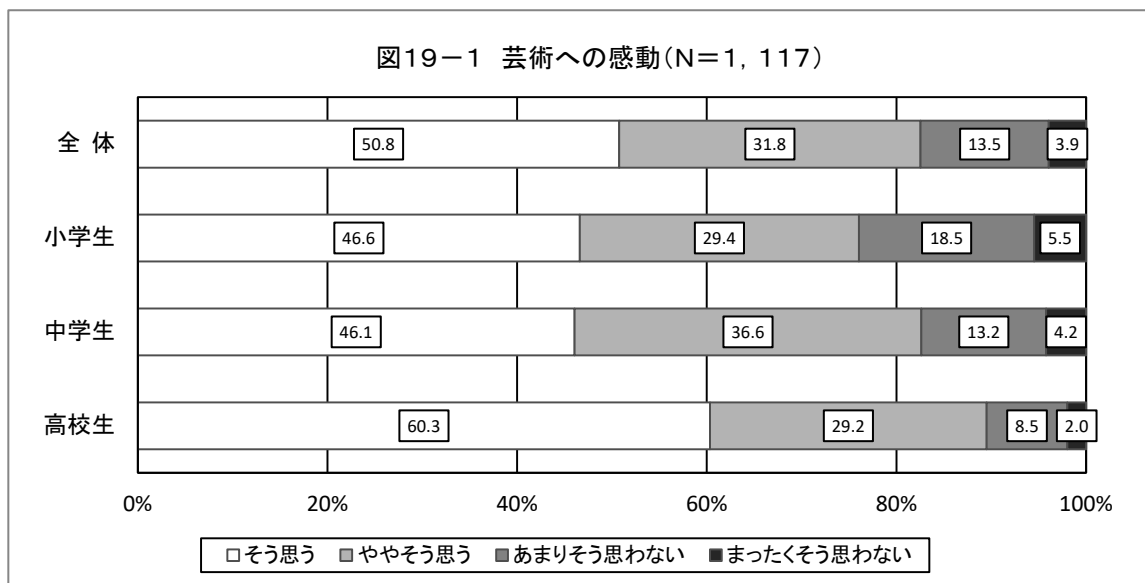
問8(4) あなたは、映画や音楽、美術作品を鑑賞して感動するほうですか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

映画や音楽、美術作品を鑑賞して感動するかどうかを尋ねたところ、「そう思う」が50.8%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、82.6%となっている。

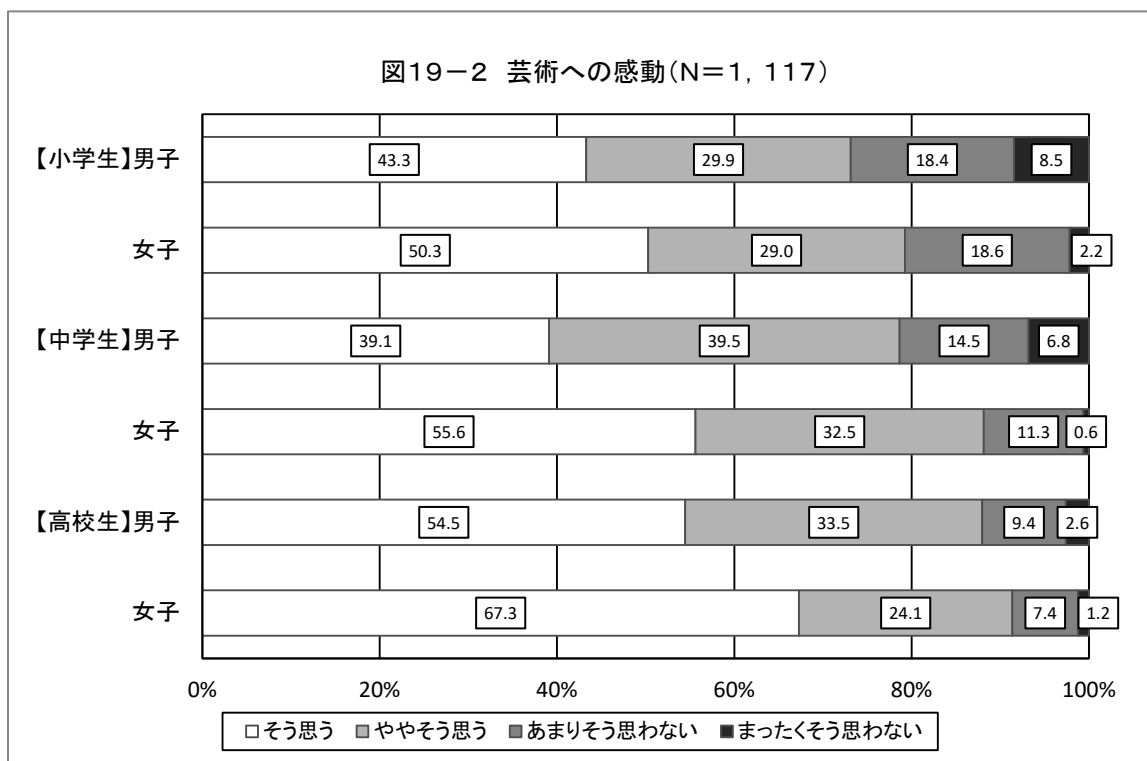
【学校種別集計結果】

『そう思う』は、高校生が89.5%で最も高く、以下、中学生(82.7%)、小学生(76.0%)となっている。



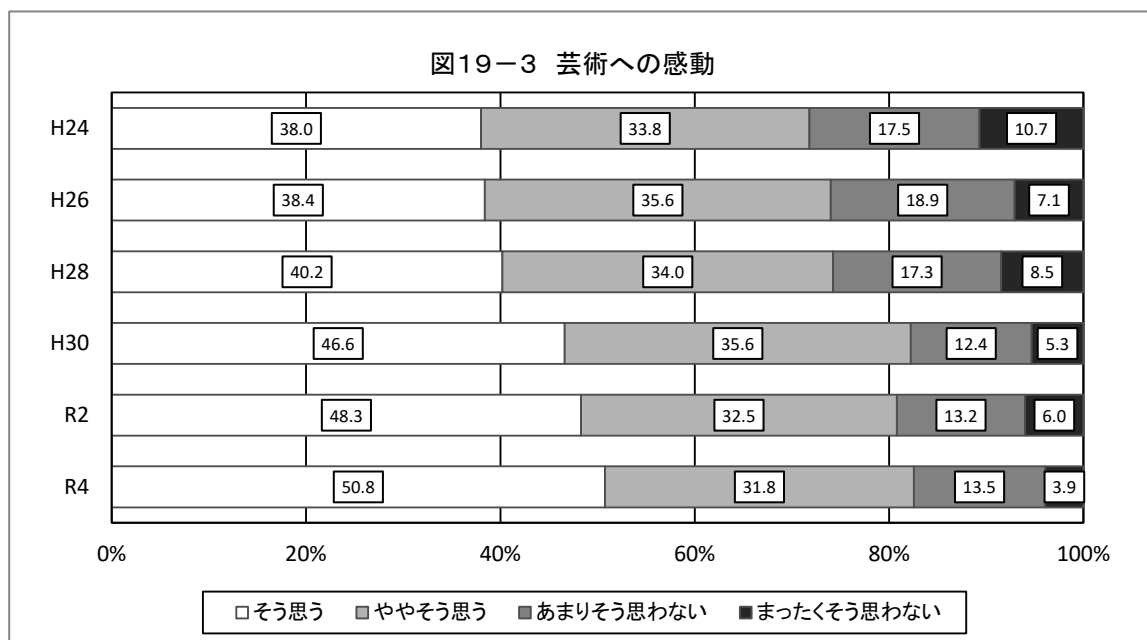
【属性別集計結果】

『そう思う』は、高校生女子が91.4%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりもポイントが高い。「そう思う」も同様である。



【経年変化】

『そう思う』は、増加傾向にあり、特に「そう思う」は増加している。



<自身への思いやり>

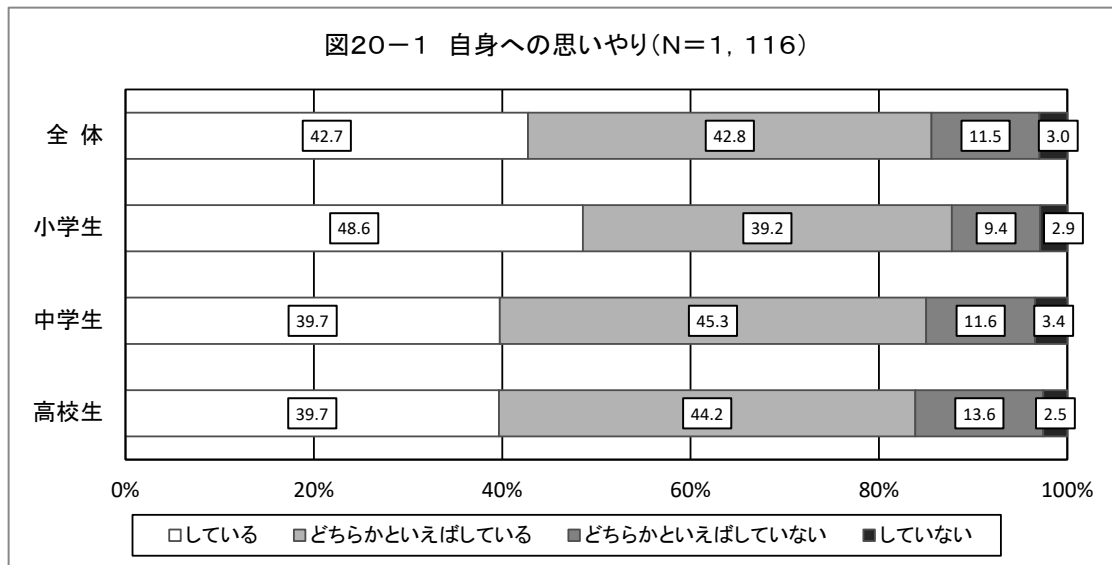
問9 あなたは、自分自身を大切にしていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自分自身を大切にしているかどうかを尋ねたところ、「どちらかといえばしている」が42.8%で最も高い。「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた『している』は、85.5%となっている。

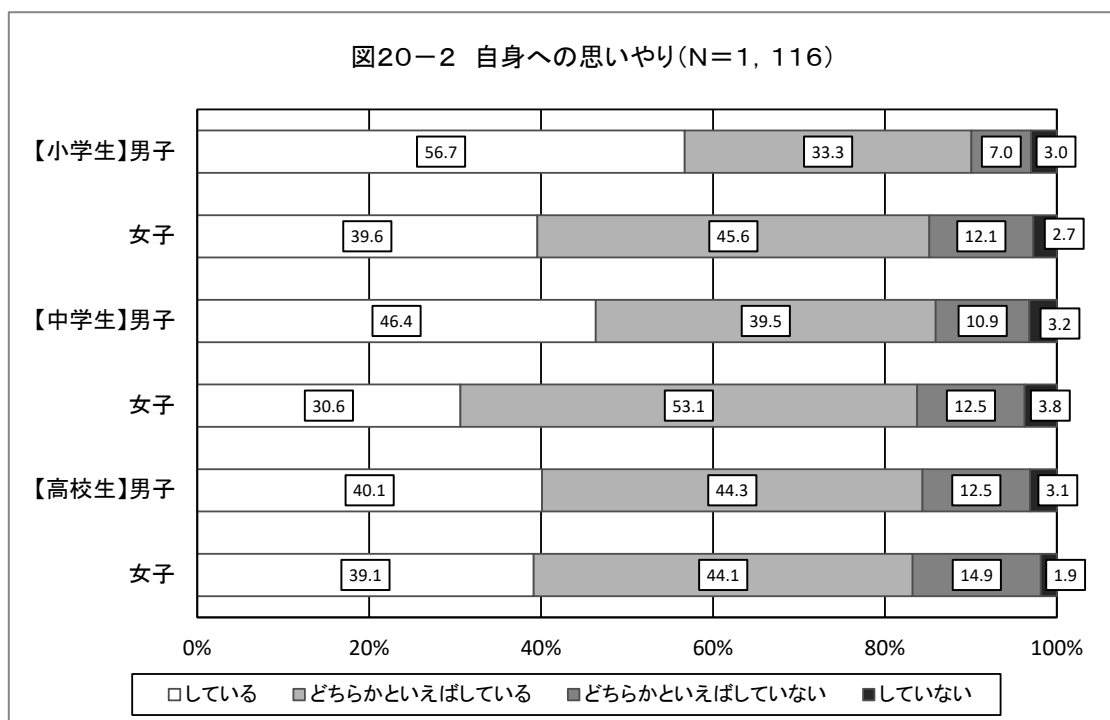
【学校種別集計結果】

『している』は、小学生が87.8%で最も高く、以下、中学生(85.0%)、高校生(83.9%)となっている。



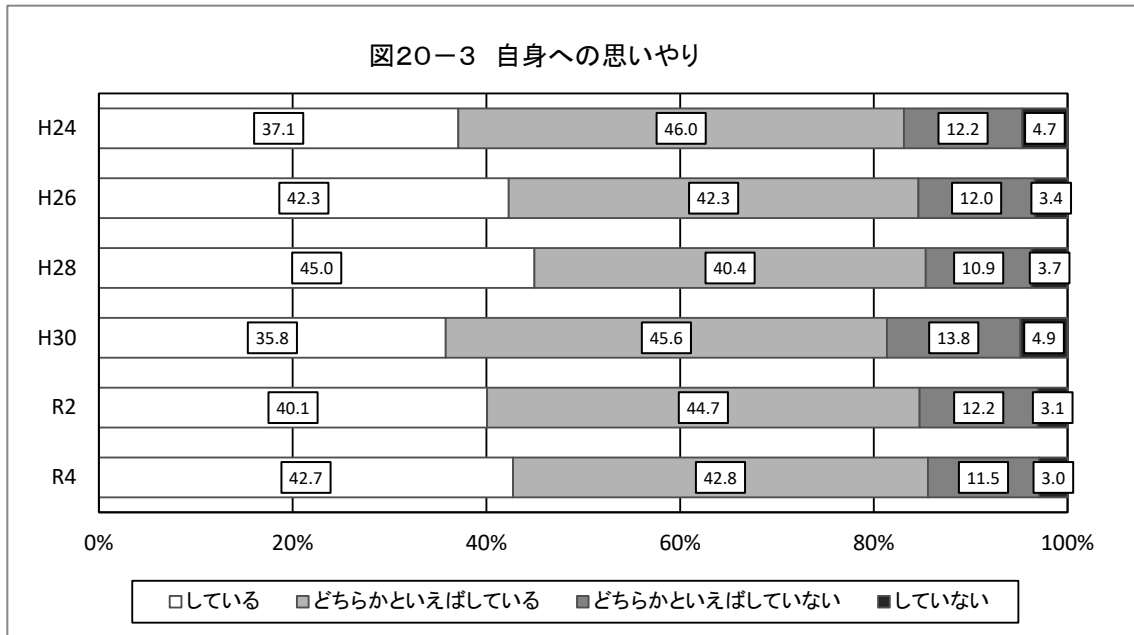
【属性別集計結果】

『している』は、小学生男子が90.0%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、男子のほうが女子よりもポイントが高い。



【経年変化】

『している』は、80%台で推移している。



<他人への思いやり>

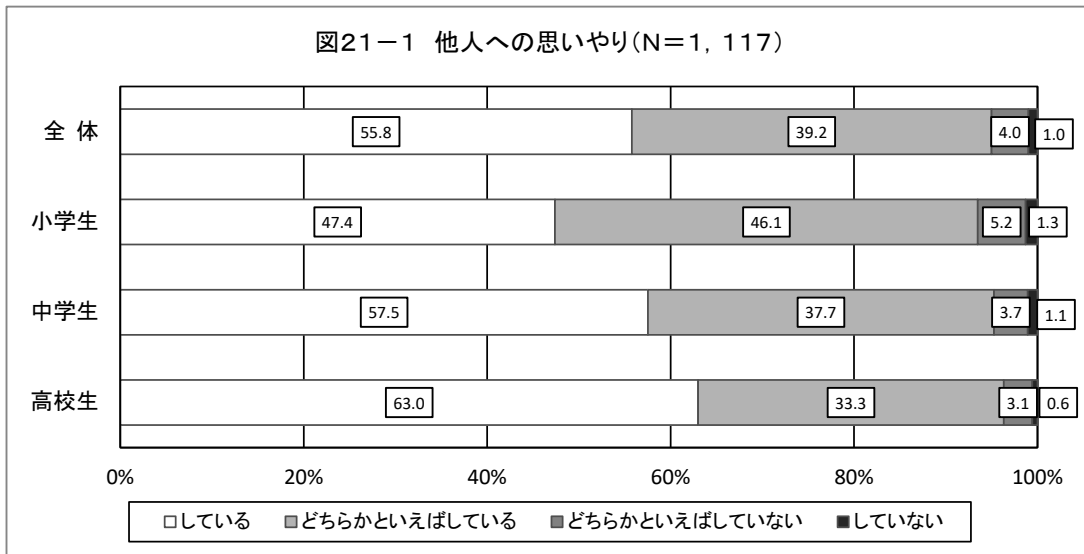
問10 あなたは、他人に対して思いやりをもって接するよう心がけていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

他人に対して思いやりをもって接するよう心がけているかどうかを尋ねたところ、「している」が55.8%で最も高い。「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた『している』は、95.0%となっている。

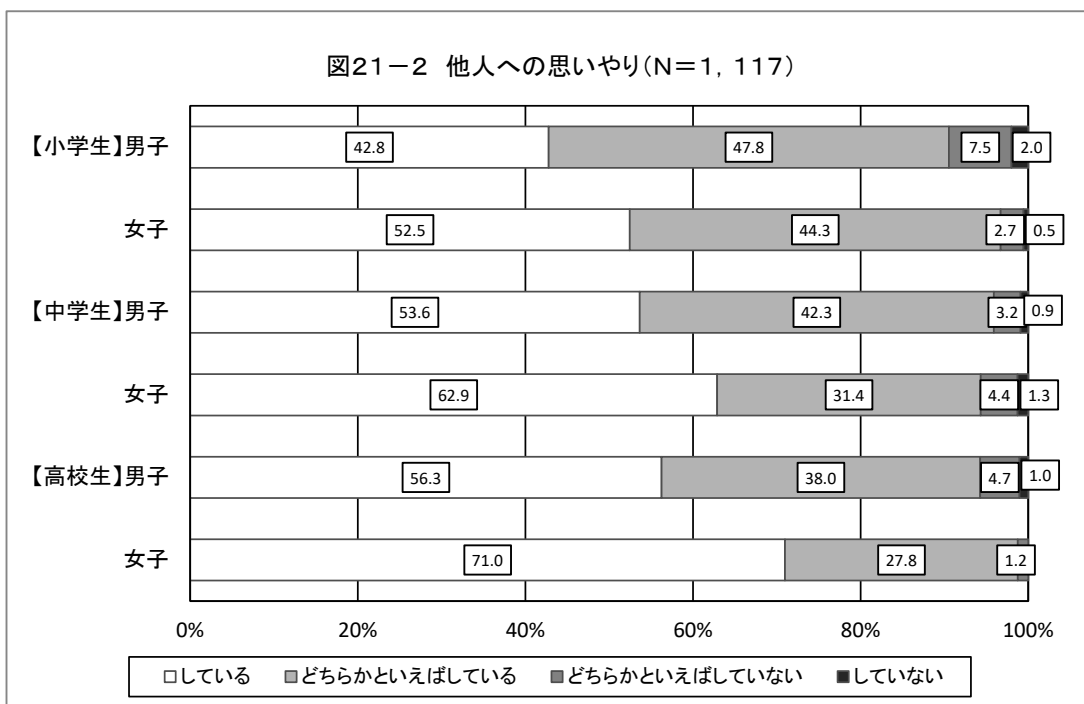
【学校種別集計結果】

『している』は、高校生が96.3%で最も高く、以下、中学生(95.2%)、小学生(93.5%)となっている。



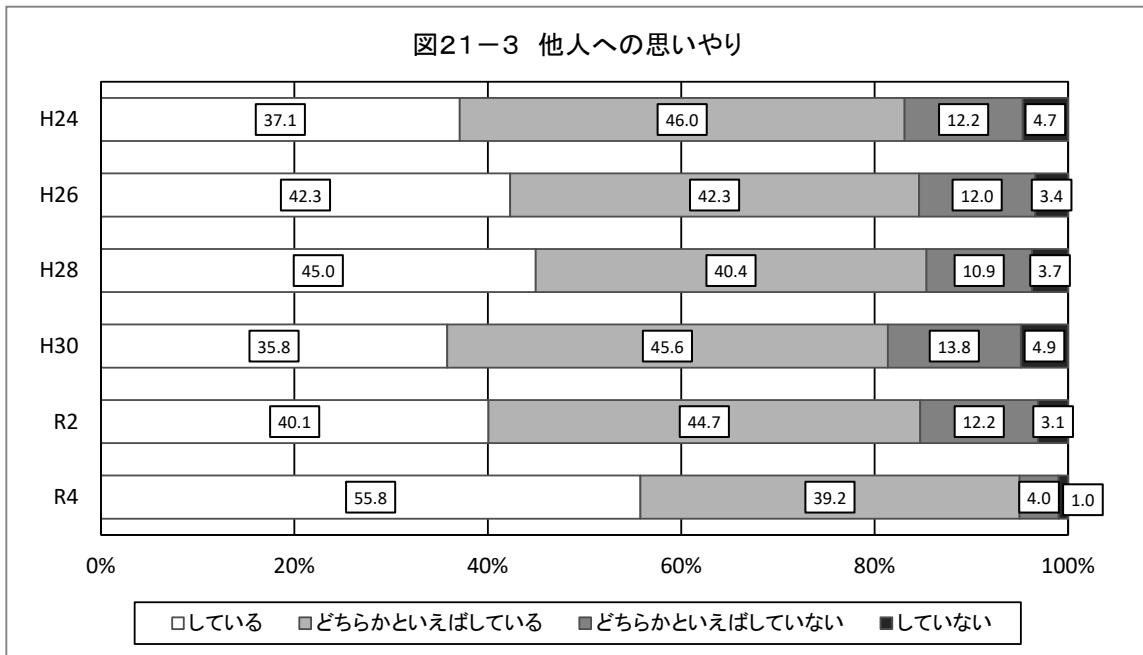
【属性別集計結果】

『している』は、高校生女子が98.8%で最も高く、小学生、中学生、高校生のいずれも、90.0%を超えている。



【経年変化】

『している』は、令和2年度までは、おおむね85%程度で推移していたが、令和4年度は95.0%と約10ポイント増加した。



<命について>

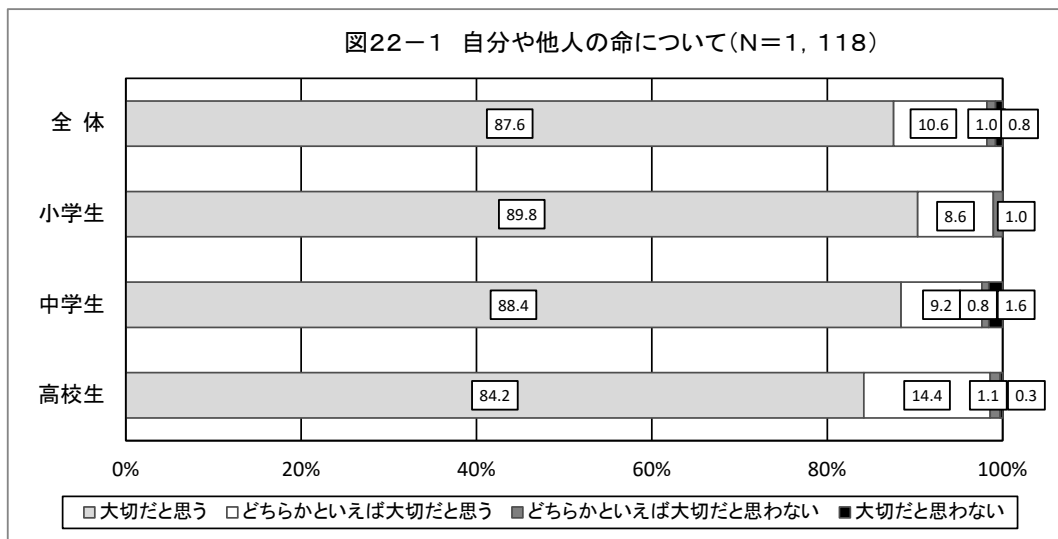
問11 あなたは、自分や他人の命についてどう思いますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自分や他人の命をどう思うかについて尋ねたところ、「大切だと思う」が87.6%で最も高い。「大切だと思う」と「どちらかといえば大切だと思う」を合わせた『大切だと思う』は、98.2%となっている。

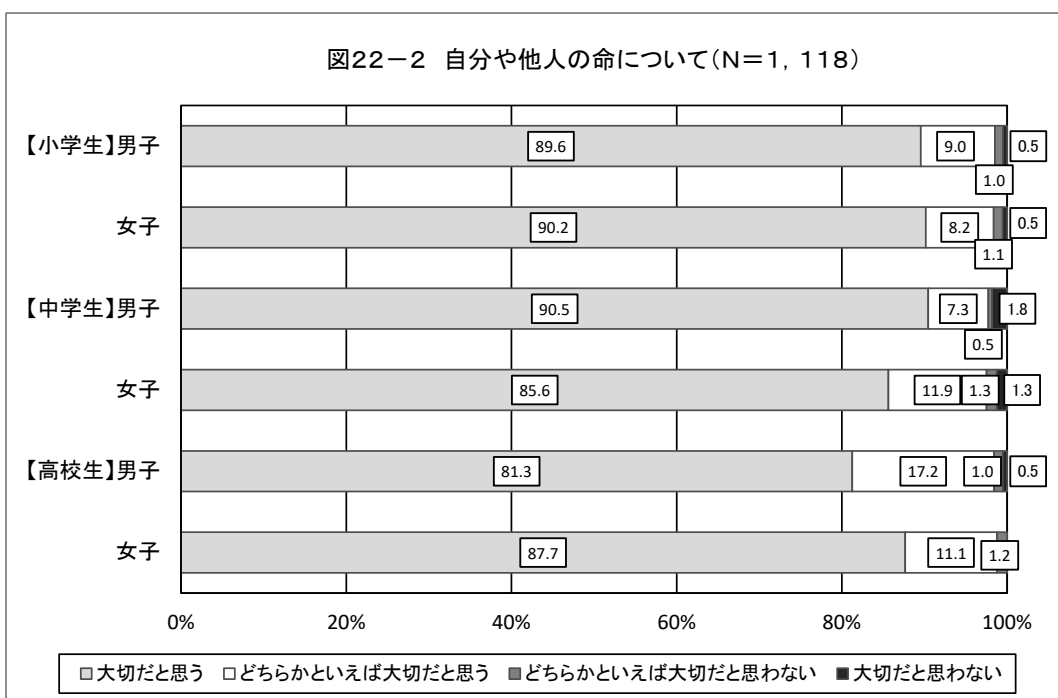
【学校種別集計結果】

『大切だと思う』は、高校生が98.6%で最も高く、以下、小学生(98.4%)、中学生(97.6%)となっている。



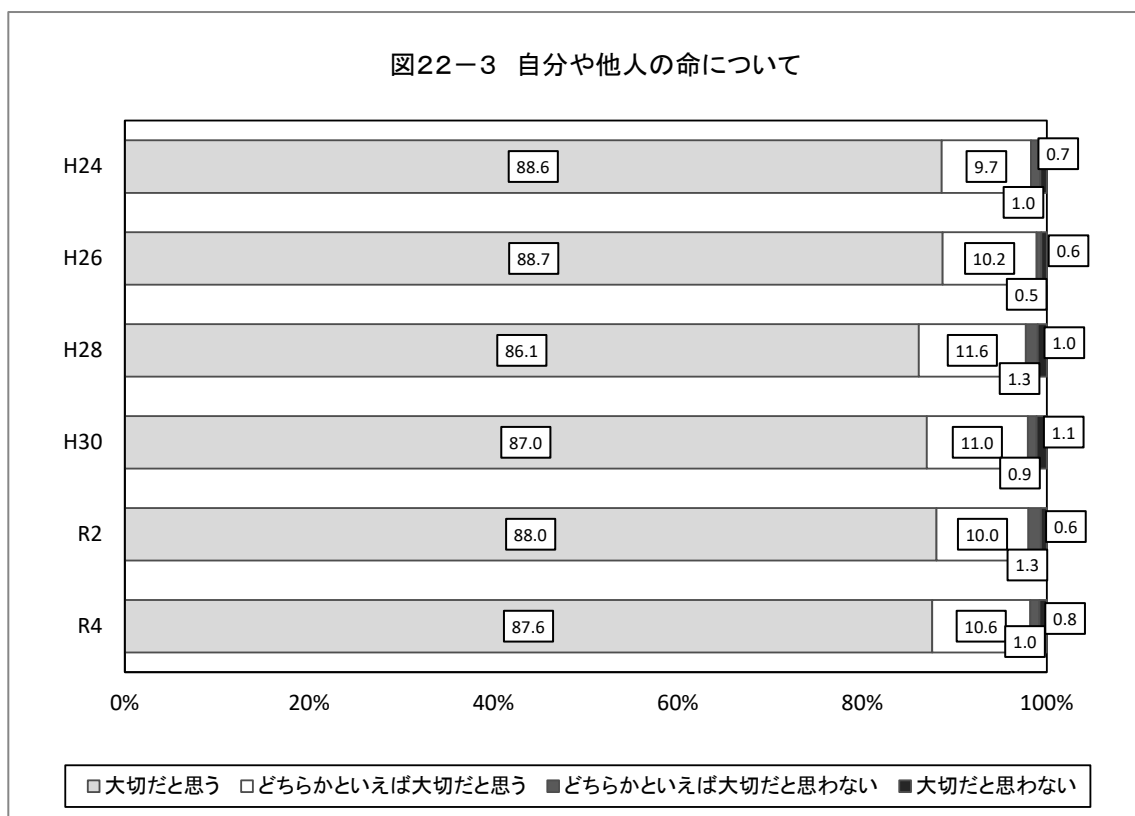
【属性別集計結果】

『大切だと思う』は、高校生女子が98.8%で最も高い。また小学生、中学生、高校生のいずれも、男女の差はあまり見られない。



【経年変化】

『大切だと思う』は、おおむね98%前後で推移している。



<家族や社会への関わりについて >

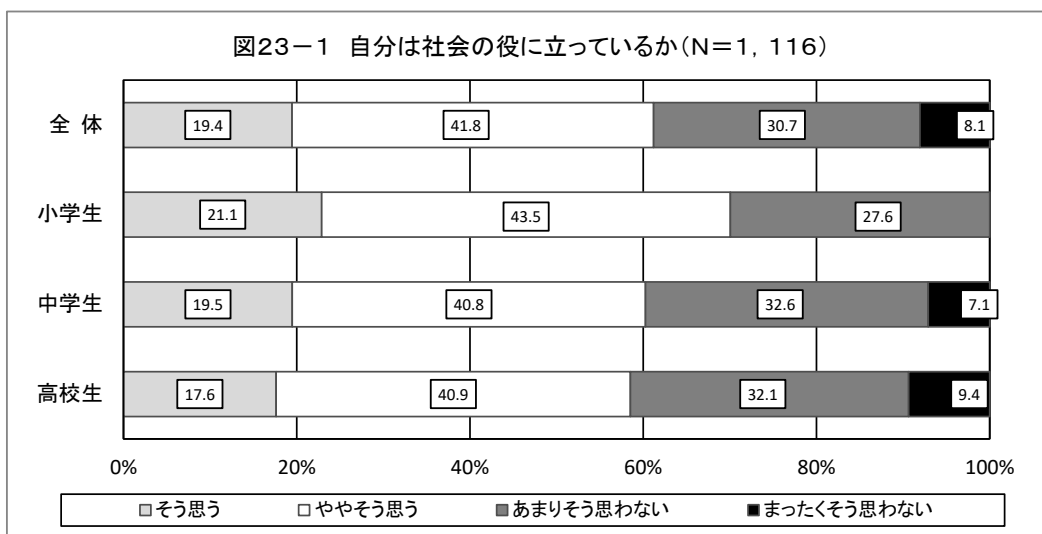
問12 あなたは、家族や社会の一員として世の中の役に立っていると感じることがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

世の中の役に立っていると感じるかについて尋ねたところ、「ややそう思う」が41.8%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、61.2%となっている。

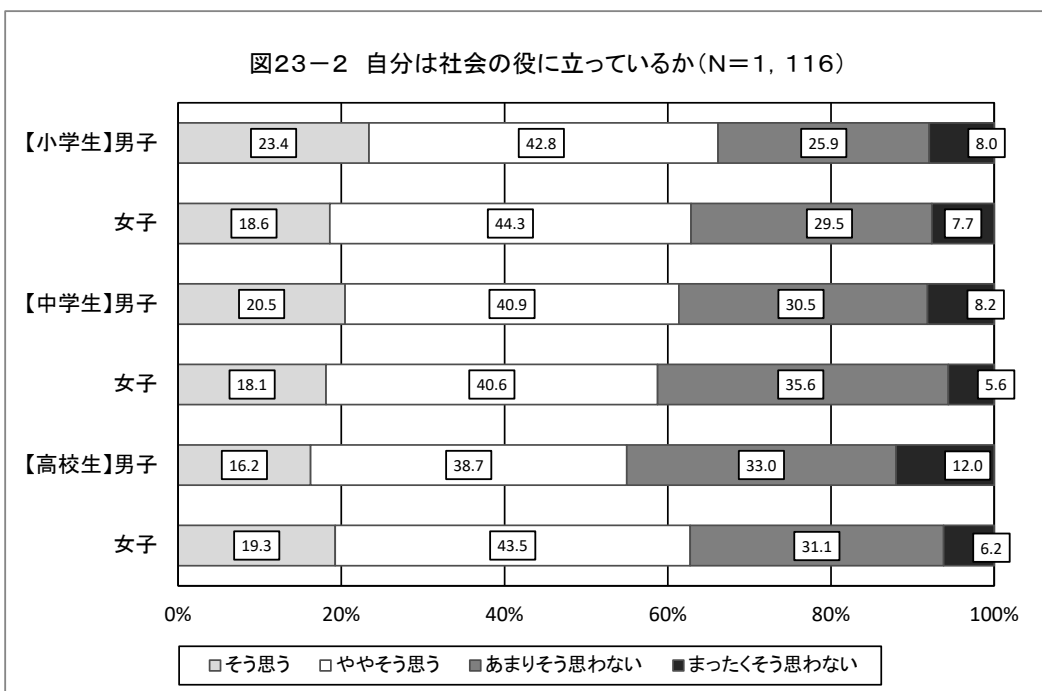
【学校種別集計結果】

『そう思う』は、小学生が64.6%で最も高く、以下、中学生(60.3%)、高校生(58.5%)となっている。



【属性別集計結果】

『そう思う』は、小学生男子が66.2%で最も高い。また、小学生と中学生では男子のほうがポイントが高く、高校生は女子のほうがポイントが高い。



<小さい子の面倒見について >

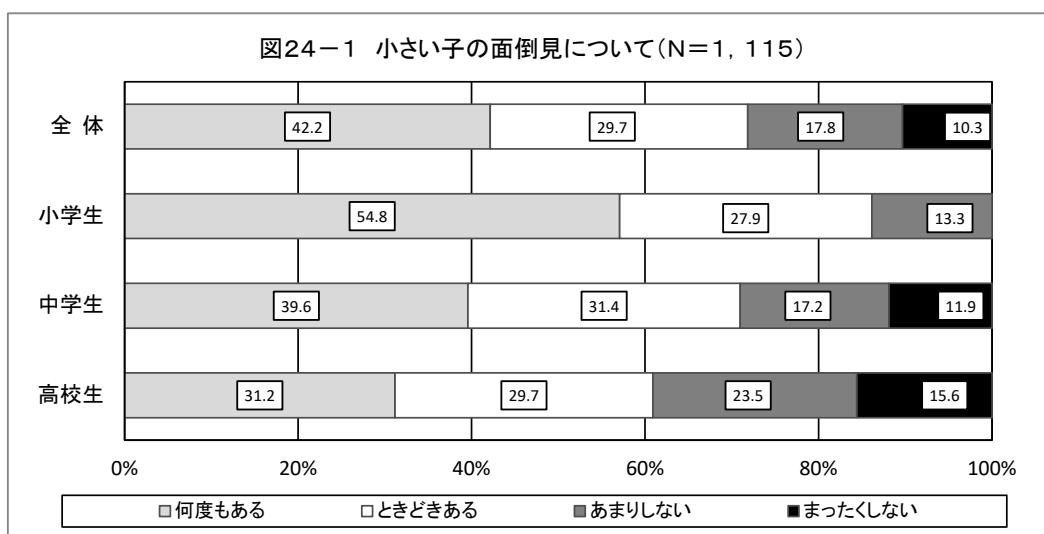
問13 あなたは、自分より年齢が低い子と遊んであげたり面倒を見ることはありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自分より年齢が低い子と遊んだり面倒を見るかについて尋ねたところ、「何度もある」が42.2%で最も高い。「何度もある」と「ときどきある」を合わせた『ある』は、71.9%となっている。

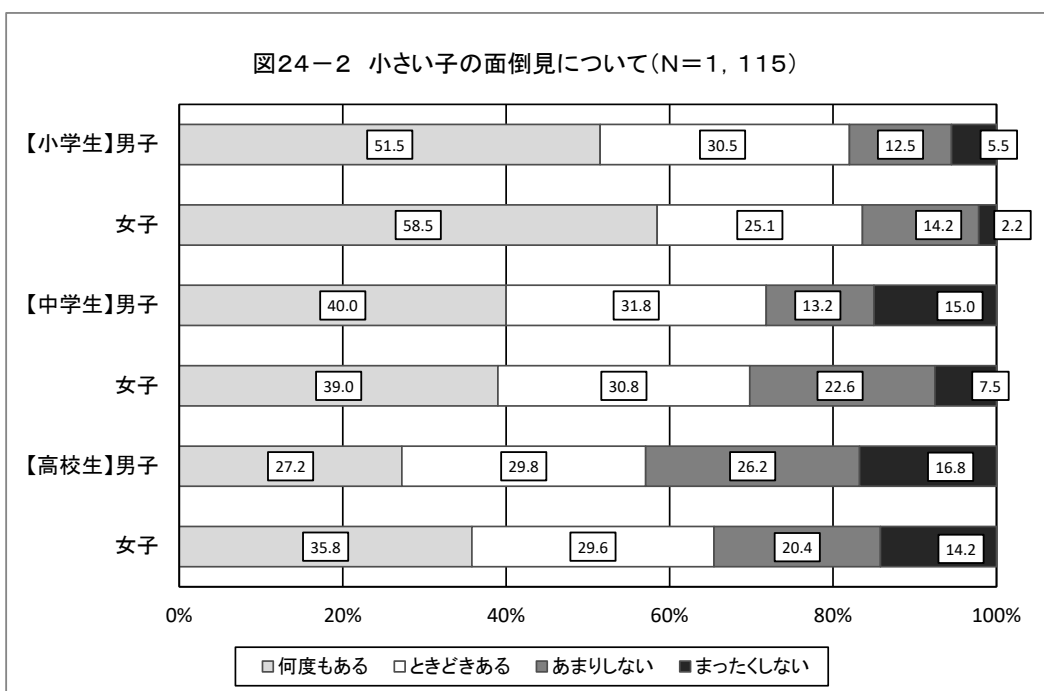
【学校種別集計結果】

『ある』は、小学生が82.7%で最も高く、以下、中学生(71.0%)、高校生(60.9%)となっている。



【属性別集計結果】

『ある』は、小学生女子が83.6%で最も高い。また、学校種では、小学生と中学生では男女の差はあまりないが、高校生では男女の差が大きくなっている。



<居心地のいい場所>

問14	今のあなたにとって、居心地のいい場所はどこですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。
-----	--

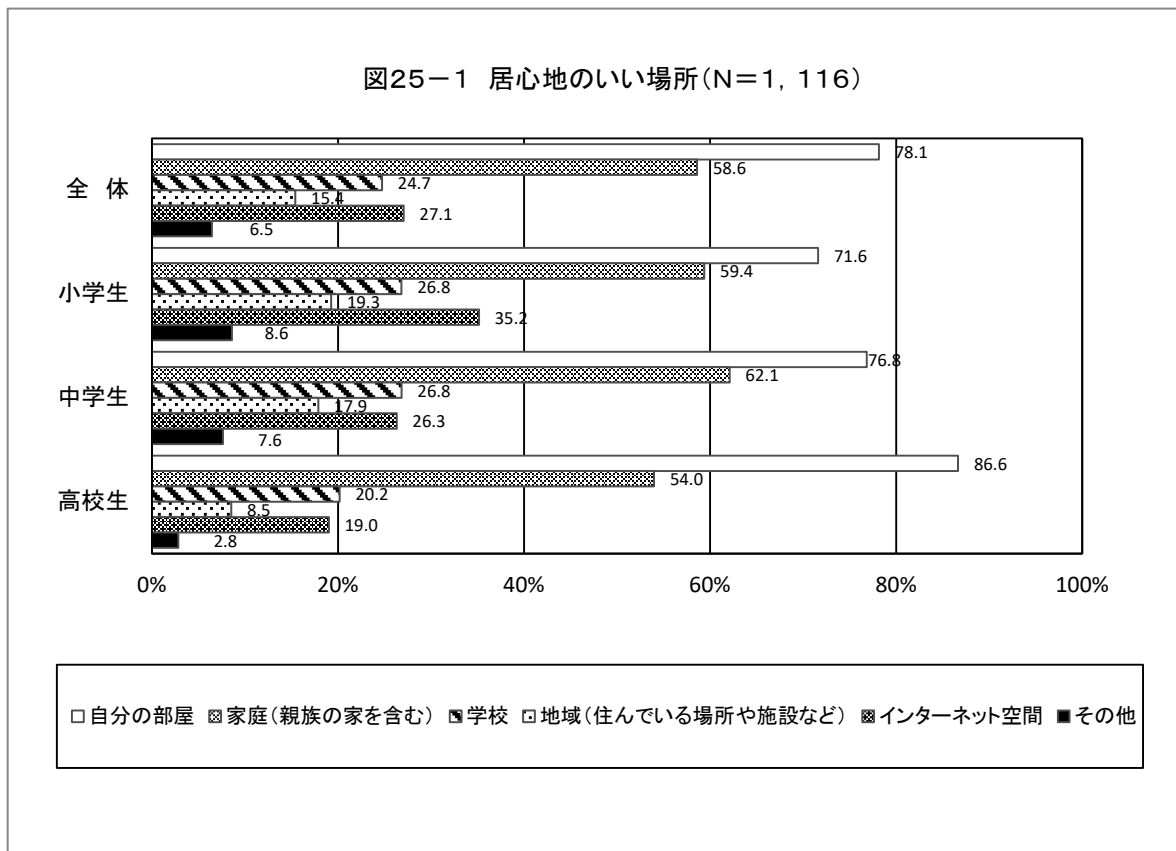
【全体集計結果】

居心地のいい場所について尋ねたところ、「自分の部屋」が78.1%で最も高く、以下、「家庭（親族の家を含む）」（58.6%）、「インターネット空間」（27.1%）の順となっている。

【学校種別集計結果】

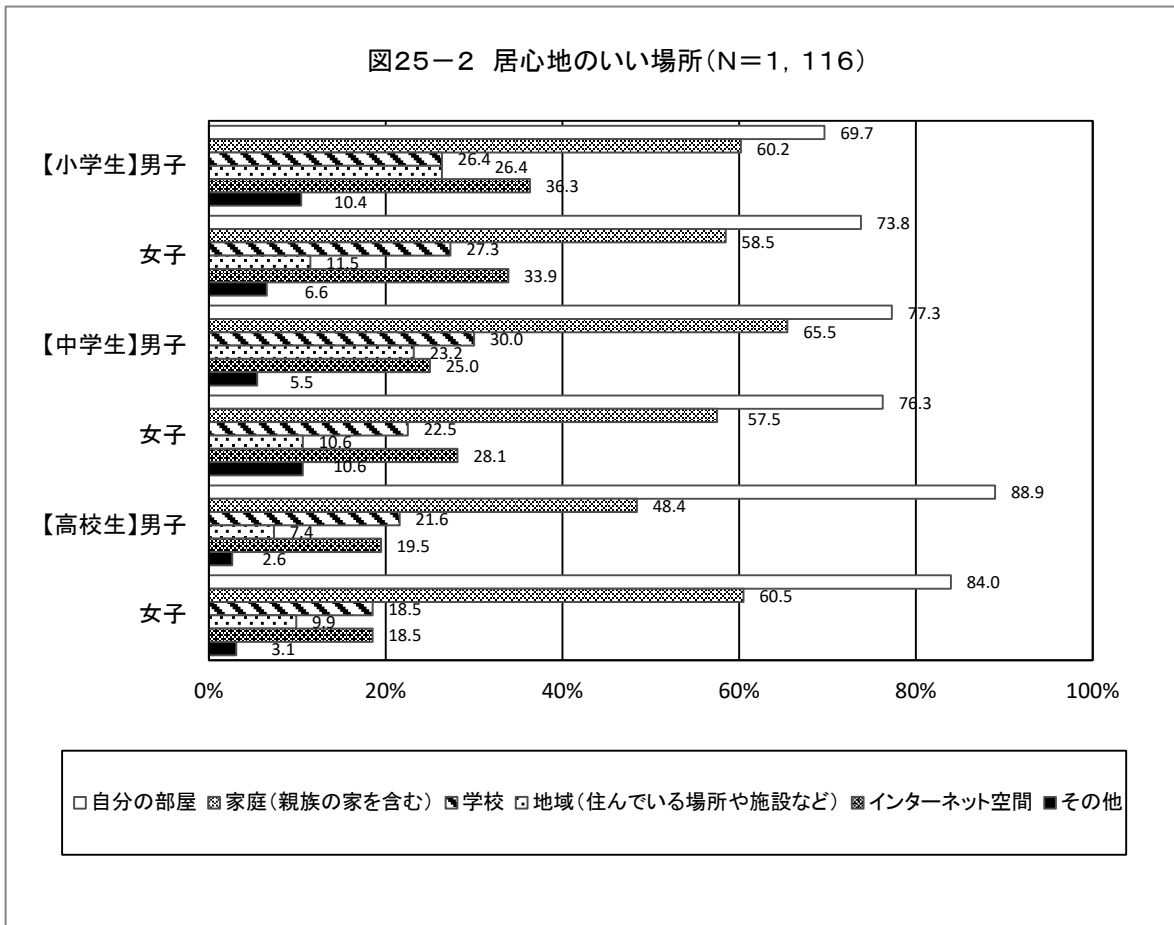
小学生、中学生、高校生のいずれも、「自分の部屋」（小学生：71.6%、中学生：76.8%、高校生：86.6%）の割合が最も高い。

以下、「家庭（親族の家を含む）」（小学生：59.4%、中学生：62.1%、高校生：54.0%）の順となっている。



【属性別集計結果】

「家庭(親族の家を含む)」については、高校生女子が高校生男子より10ポイント以上高い。また、「地域(住んでいる場所や施設など)」については、小学生と中学生において、男子のほうが女子よりも10ポイント以上高い。



< 悩みごと >

問15 あなたには、どんな悩みごとがありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。ない場合は、17を選んでください。

【全体集計結果】

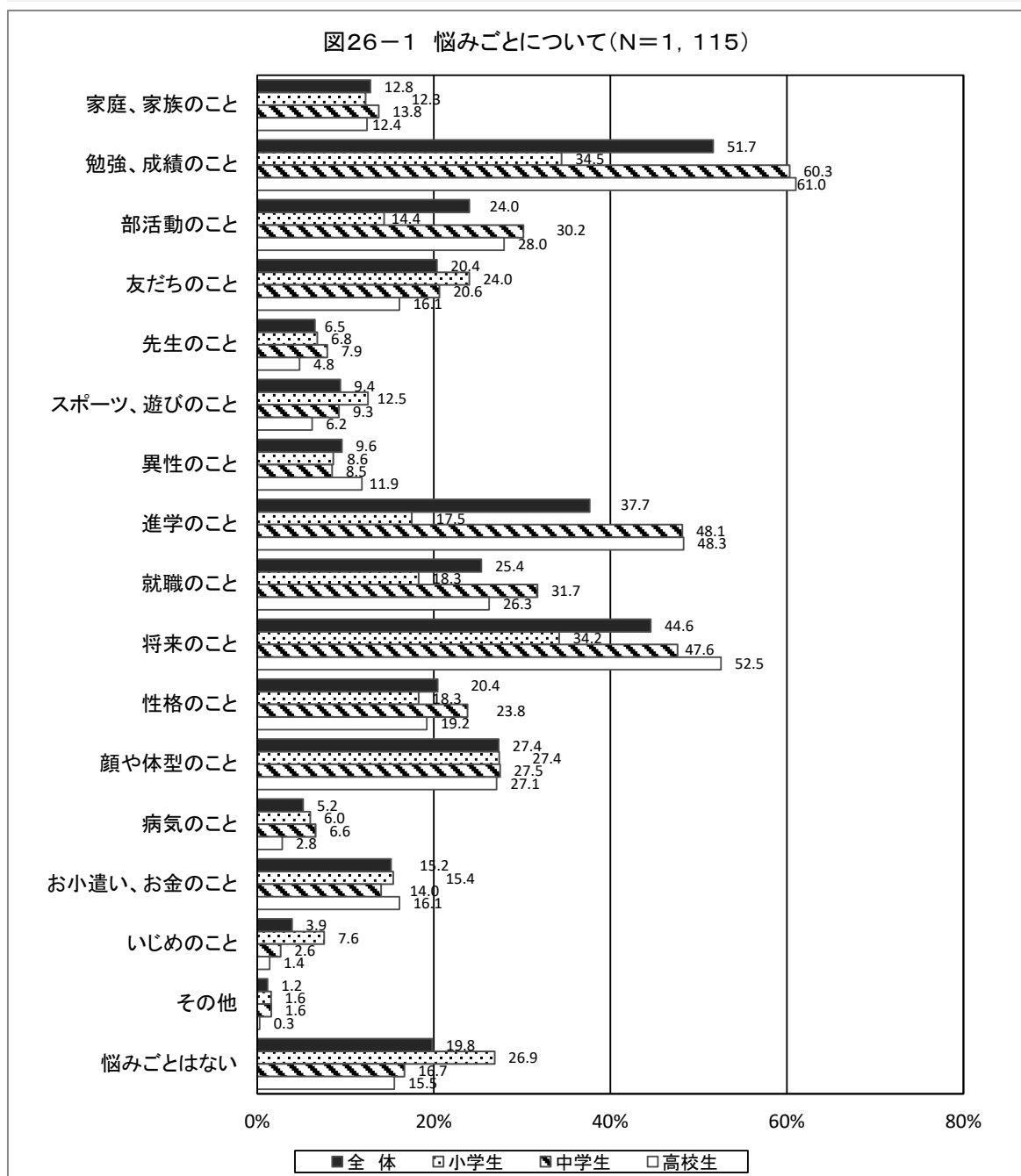
悩みごとについて尋ねたところ、「勉強、成績のこと」が51.7%で最も高く、以下、「将来のこと」(44.6%)、「進学のこと」(37.7%)の順となっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「勉強、成績のこと」(34.5%)「将来のこと」(34.2%)、「顔や体型のこと」(27.4%)の順となっている。

中学生では、「勉強、成績のこと」(60.3%)、「進学のこと」(48.1%)、「将来のこと」(47.6%)の順となっている。

高校生では、「勉強、成績のこと」(61.0%)、「将来のこと」(52.5%)、「進学のこと」(48.3%)の順となっている。

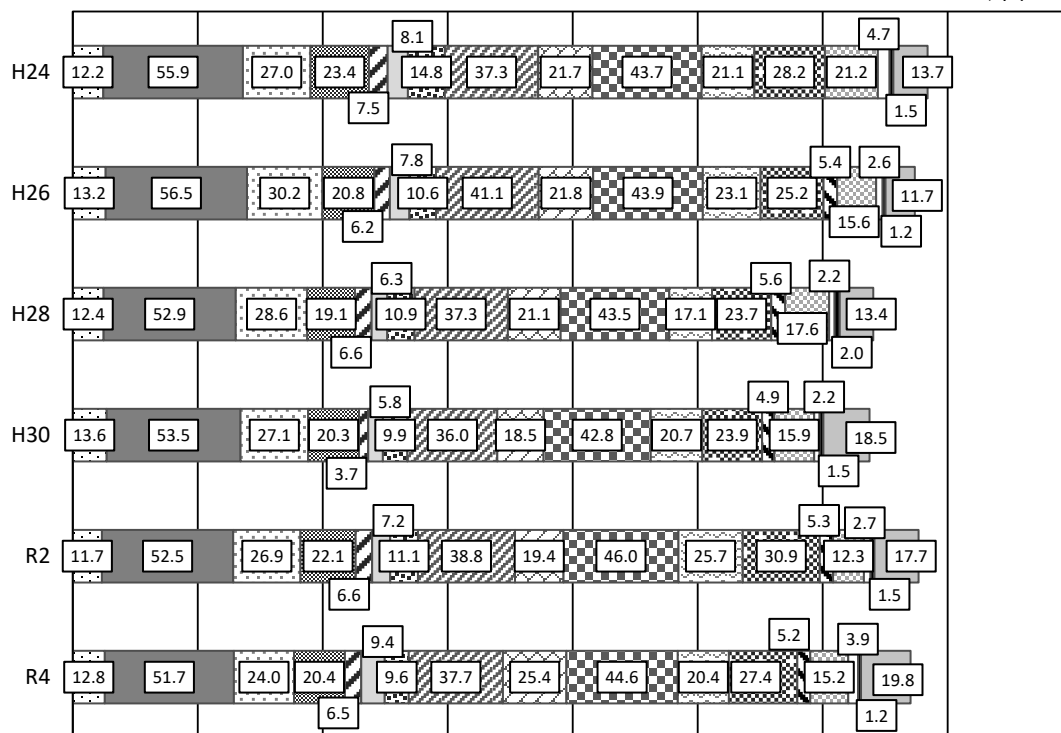


【経年変化】

「勉強・成績のこと」「進学のこと」「将来のこと」の割合が依然として高い。

図26-2 悩みごとについて

(単位:%)



- 家庭、家族のこと
- 勉強、成績のこと
- 部活動のこと
- 友だちのこと
- 先生のこと
- スポーツ、遊びのこと
- 異性のこと
- 進学のこと
- 就職のこと
- 将来のこと
- 性格のこと
- 顔や体型のこと
- 病気のこと
- お小遣い、お金のこと
- いじめのこと
- その他
- 悩みごとはない

< 悩みごとの相談相手 >

問16(1) あなたがいろいろなことを相談する相手は誰ですか。あてはまるものを、1～11の中から、一つ選んでください。相談しない場合は12を選んでください。

【全体集計結果】

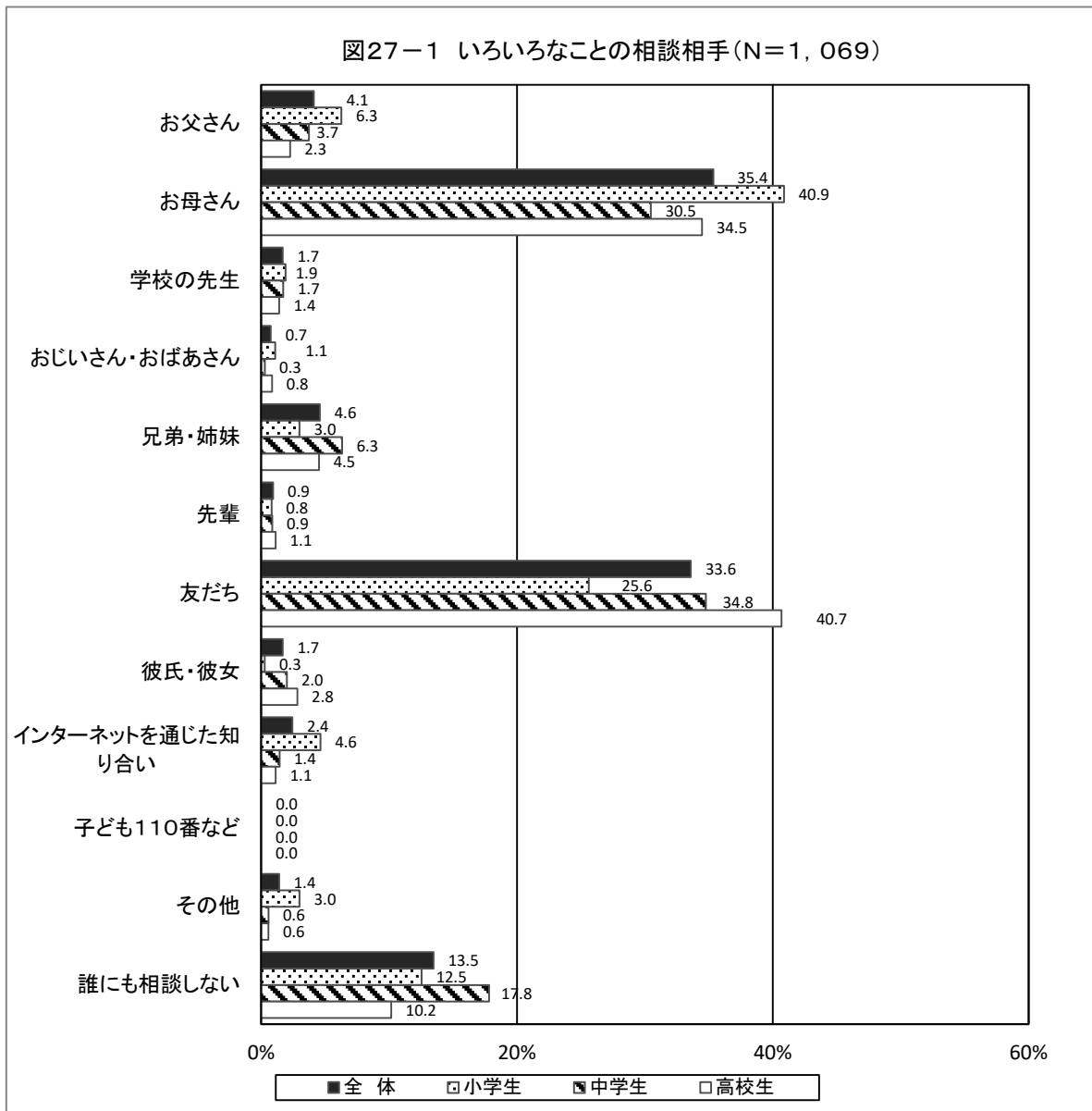
いろいろなことを相談する相手は誰かについて尋ねたところ、「お母さん」が35.4%で最も高く、以下、「友だち」(33.6%)、「誰にも相談しない」(13.5%)の順となっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「お母さん」(40.9%)、「友だち」(25.6%)、「誰にも相談しない」(12.5%)の順となっている。

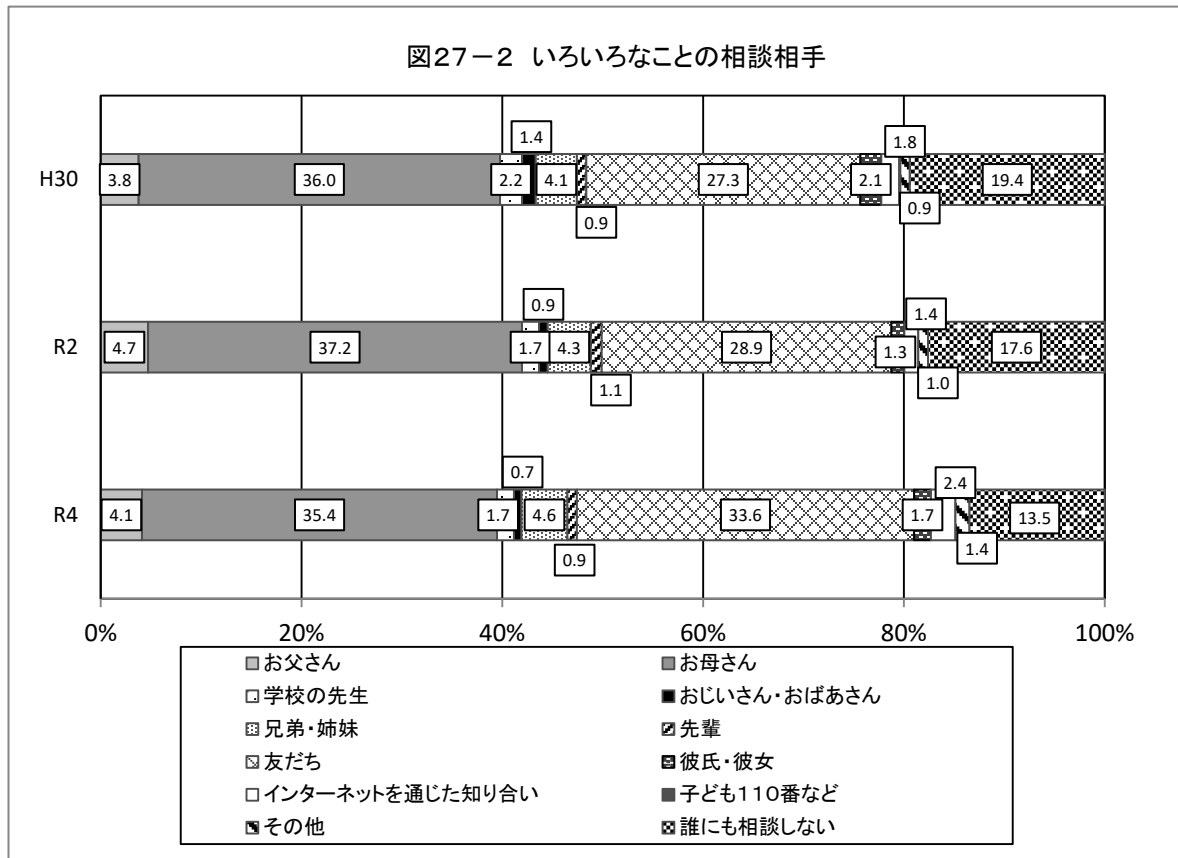
中学生では、「友だち」(34.8%)、「お母さん」(30.5%)、「誰にも相談しない」(17.8%)の順となっている。

高校生では、「友だち」(40.7%)、「お母さん」(34.5%)、「誰にも相談しない」(10.2%)の順となっている。



【経年変化】

令和2年度と比較すると、「誰にも相談しない」が4.1ポイント減少し、「友だち」が4.7ポイント増えている。



< 相談しない理由 >

問16(2) (1)で「12 誰にも相談しない」を選んだ人はお答えください。それはなぜですか。あてはまるものを一つ選んでください。

【全体集計結果】

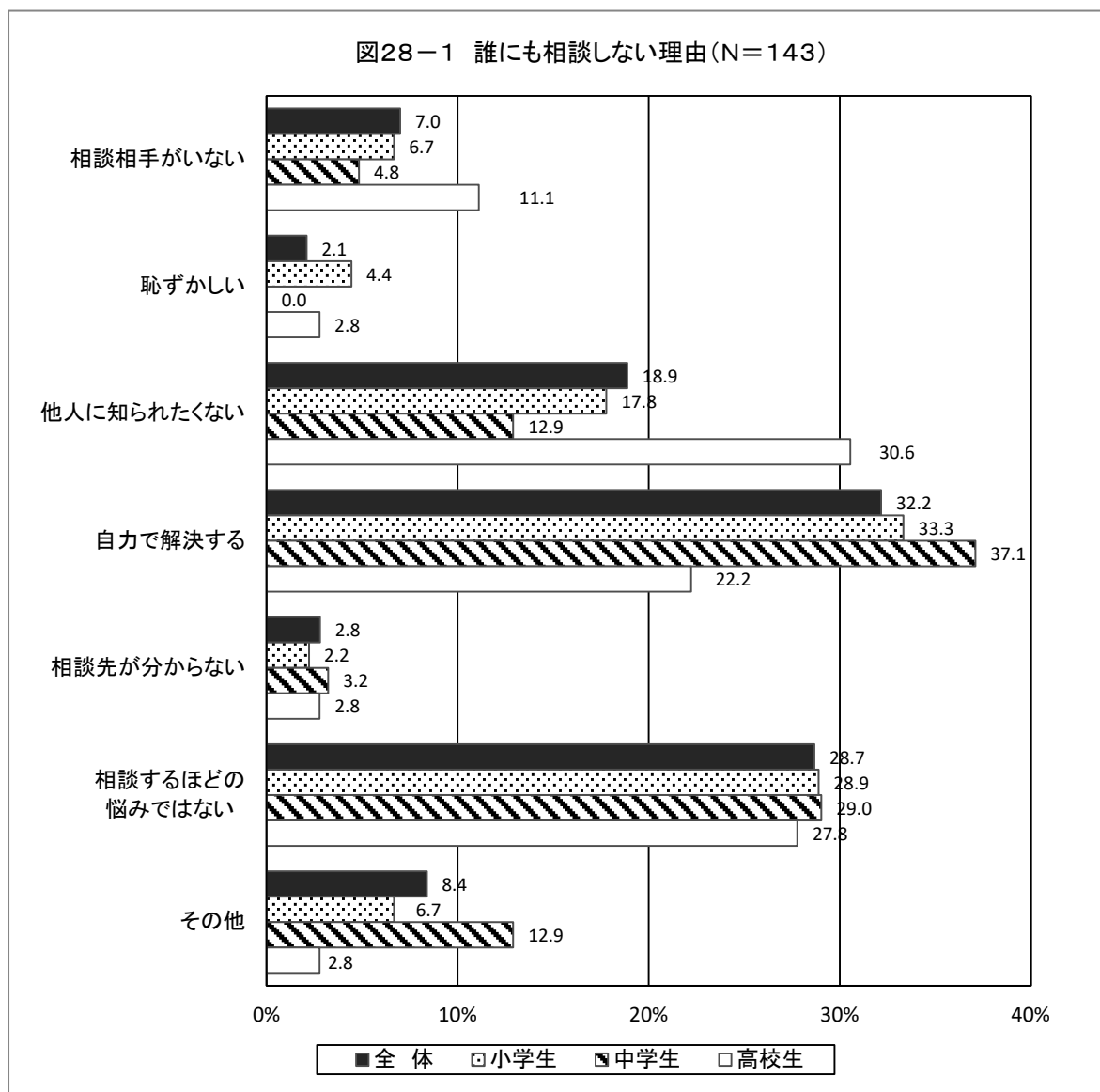
誰にも相談しない理由について尋ねたところ、「自力で解決する」が32.2%で最も高く、以下「相談するほどの悩みではない」(28.7%)、「他人に知られたくない」(18.9%)の順となっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「自力で解決する」(33.3%)「相談するほどの悩みではない」(28.9%)、「他人に知られたくない」(17.8%)の順となっている。

中学生では、「自力で解決する」(37.1%)、「相談するほどの悩みではない」(29.0%)、「他人に知られたくない」(12.9%)の順となっている。

高校生では、「他人に知られたくない」(30.6%)、「相談するほどの悩みではない」(27.8%)、「自力で解決する」(22.2%)の順となっている。



【経年変化】

平成30年度から「相談するほどの悩みではない」が減少傾向にあり、「自力で解決する」が増加傾向にある。

